

\\ 社会人
のための //

履修証明プログラム 3年次編入

子ども教育学科

知らない子どものしあわせを探究する

児童学 (child studies) の教育・研究のために、

多様な学修者との出会いを求めて、カリキュラムを社会に開き、

学修者本位の大学教育を実現します。



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

子ども教育学科の

社会人向けプログラム

現代社会において、子どもをめぐる状況は目まぐるしく変化を遂げています。子育て支援制度は年々新しくなり、IT時代の子どもは私たち大人の子ども時代とは随分異なる環境で育っています。そうした新しい時代への具体的な対処と、児童学 (child studies) がうまれて以降一貫している“人として子どもに向き合う”研究的姿勢との両方が、今の時代に育つ子どもと共に生きる大人には求められます。

- 身近な子どもと関わるヒントがほしい
- 再就職に役立つスキルを身につけたい
- 子どもに関わる知識を身につけて社会に役立ちたい
- 何か新しいことを始めたい

それぞれの課題意識の向こうには、関わる子どもの未来があります。

「知らない子どものしあわせを探究する」児童学 (child studies) によって、どの子どもの未来も他人事ではありません。

子ども教育学科の専門科目を手掛かりに、一步を踏み出してみませんか。

子ども教育学科の社会人向けプログラムでは、子ども教育学科の学生と一緒に学びます。

履修証明 プログラム

- どなたでも。
- 何年かかって大丈夫です。
- ご都合に合わせて受講することができます。
- 費用は受講分だけ掛かります。

所定の授業の修了者に対して履修証明書が交付されます。

編入学 (3年次編入)

- 編入学試験出願資格をお持ちの方。
- 子ども教育学科3年次に編入学し、2年間(4セメスタ)の在学と64単位以上の単位修得により卒業できます。
- ゼミを通して専門的に学修します。

卒業要件(上欄の下線部)を満たすと、学士(児童学)、児童指導員任用資格を得て卒業できます。

履修証明プログラム

聖学院大学の教室で、子ども教育学科の学生たちと一緒に授業に出席して学ぶプログラムです。(一部にオンライン授業が含まれます。) 子どもに関する学術的 주제に関する私たちの授業の専門性の高さを感じていただけの授業科目を選びました。「履修証明プログラム」は単年度で修了する必要はありません。ご都合にあわせて柔軟に学びを続けていただくことができます。

多彩なプログラムと
支援体制で
学びたい気持ちを
サポートします。

プログラム一覧 ※時間割は2023年度の例です。

子どもと大人の間を考えるⅠ(基礎)

家庭や地域社会で実際に子どもと関わる経験をもつ方を対象に、児童学 (child studies) の手法を用いて子ども理解を深め、子どもとの関わりを変えていくことを目的とします。春学期の「児童学概論」では毎授業後にリアクションペーパーを提出し、担当教員からのコメントを受けることで、自らの学びの方向性を確認しながら進めることができます。

開講期	授業科目名称	時間割	時間数	備考
春	児童学概論	水1	22.5	
秋	子どもの諸問題と教育相談	月2・3	45	

子どもと大人の間を考えるⅡ ※1

「子どもと大人の間を考えるⅠ(基礎)」の履修を終えた方を対象に、子ども理解を深めることを目的としています。社会全体の多様な子どもたちに関わる事項を広く学んで視野を広げ、子ども一人一人の発達、思いや願い、事情、表現方法等の理解を基盤として、子どもの本当の気持ちを汲むことのできる力を養い、子どもたちの側に立てる大人になることを目指します。

開講期	授業科目名称	時間割	時間数	備考
春	子ども理解の理論と方法	月4	22.5	
	子ども家庭支援論	火3	22.5	
秋	特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援 ※2	木4	12	
	子どもと表現 ※2	月2	12	
	異文化間教育	火3	22.5	

※1「子どもと大人の間を考えるⅠ(基礎)」履修証明済みの方を対象

※2「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援」「子どもと表現」の授業は、15週のうち8回のみです。

今必要な学びに、
自分のペースで取り組める

子どもの心理を学ぶ

子どもの生活や学習について理解しようとする場合、心理学は大きな力となります。発達の理論を踏まえてみることで、子どもの姿や子どもの事情を解き明かし、子ども本人や保護者の困りごとに向き合う手法についても併せて学びます。

開講期	授業科目名称	時間割	時間数	備考
春	発達心理学	木4	22.5	1科目選択
	教育心理学	金1	22.5	
秋	教育相談 (カウンセリングを含む。)	金2	22.5	
	子ども家庭支援の心理学	金3	22.5	

子どもの障害を学ぶ

障害の有無にかかわらず一人一人の子どもがその子どもに合った保育や教育を受けられることが、子ども教育学科の教育・研究が目指すところです。保育士課程・特別支援教職課程における子どもの障害を学ぶ基礎科目群を通して、子どもの障害を理解し、障害のある子どもとの関わりについて学びます。

開講期	授業科目名称	時間割	時間数	備考
春	障害児教育総論	月5	22.5	1科目選択
	障害児保育A	金3	22.5	
秋	知的障害児指導法	月2	22.5	2科目選択
	肢体不自由児指導法	木2	22.5	
	障害児保育B	月3	22.5	

児童文化① (総論)

子どもと社会との関わりを「文化」という視点から学びます。子どもと大人が関わり合う暮らしの中で生み出され、時代を超えて継承されてきた児童文化に着目し、おもちゃ、絵本、児童文学、遊び、行事等の多様な事項を手掛かりとして検討します。

開講期	授業科目名称	時間割	時間数	備考
春	児童文学	月3	22.5	3科目選択
	おもちゃ論	金3	22.5	
秋	児童文化論	金2	22.5	
	絵本文化論	月2	22.5	

児童文化② (児童文学)

英米児童文学研究者でもあり、自らファンタジー作品を生み出す児童文学者でもある授業担当者から、児童文学に関する研究の成果を学びます。

週に2回(1回は時間割内での対面授業/1回はオンデマンド形式のオンライン授業)授業があり密度濃く進む形式です。

開講期	授業科目名称	時間割	時間数	備考
春	英米児童文学	木2/★	45	
秋	ファンタジー論	月3/★	45	

週2コマ、時間割内開講と★はオンライン授業

児童文化③ (子どもの表現活動)

子どもと社会の接点から生まれる「児童文化」には、子どもの表現活動も含まれます。大人の働きかけや準備や環境が大きく影響することから、子ども自身が伸び伸びと表現して児童文化を享受するには、大人の側の意識と技量がとても大きな力をもちます。この講座では、これらの具体について学び身につけます。

開講期	授業科目名称	時間割	時間数	備考
春	造形表現基礎	月2か3か4	22.5	2科目選択
	子どもと環境 ※	木5	12	
	子どもと言葉 ※	木5と金5	12	
秋	子どもと表現 ※	月2	12	1科目選択
	音楽・実技B	金3か4	22.5	
	Smile English (幼児の英語)	月4	22.5	

※「子どもと環境」「子どもと言葉」「子どもと表現」の授業は、15週のうち8回のみです。そのため、春学期の木曜日5限は、15週のうち8回が「子どもと環境」、4回が「子どもと言葉」となります。「子どもと言葉」の4回の授業は金曜日5限に開講されます。



編入学（3年次）履修モデル

これまでも、資格取得を目的とした編入学、教員免許状の上進（二種免許状を一種免許状にすること）を目的とした編入学を多く受け入れてきました。資格取得が関わる編入学の場合、既に修得された単位を基に個別にプログラムを考えて対応いたします。例えば、新たに保育士資格を取得しようとする場合、基本的な科目を学んだあとで行う学外実習が二年度にわたることから実質的に3年間を要しますが、編入学の規定に合う場合は「3年次編入」をお勧めしています。2年間の学修を経て卒業した後、「科目等履修生制度」を活用して3年目

の実習等に取り組むことも可能ですし、「在籍期間延長制度」を活用して卒業を延期し3年目の学びをより充実させることも可能です。これらは編入学後に、子ども教育学科の教務部教員と相談しながらじっくり考えて決めることができます。

※満40歳以上の方は「セカンドキャリア支援授業料減免制度」を利用できます。



編入学試験の入試情報は以下のURLもしくは左のQRコードよりご確認ください。
https://www.seigakuin.jp/admissions/exam/tokubetsu/to_01/

編入履修モデル①

子育てを考える

子育て等子どもと関わる中で学術的な関心を抱いた方に向けたプログラムです。児童学 (child studies) の手法に拠って子どもを客観視し、学術的な理論を通して向き合うと、子どものおもしろさと魅力に気づきます。希望により重点的に取り組みたい事項を加えることができます。

●科目例
児童学概論／子ども理解の理論と方法／子ども家庭支援論 ほか

編入履修モデル②

児童指導員等として働く力をつける

（保育士資格、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の教諭免許状をもっていないが）職業で幼児や学齢期の子どもに支援的に関わる業務に携わる方に向けたプログラムです。希望により重点的に取り組みたい事項を加えることができます。

●科目例
社会的養護A・B／子ども家庭福祉／子どもの健康と安全 ほか

編入履修モデル③

障害児支援を学ぶ

身近な障害児の支援を学術的な理解を基盤として行いたい方、（保育士、特別支援学校教諭免許状をもっていないが）職業で障害児に支援的に関わる業務に携わる方に向けたプログラムです。希望により重点的に取り組みたい事項を加えることができます。

●科目例
障害児教育総論／障害児保育A・B／障害幼児指導法 ほか

編入履修モデル④

最新の保育を学ぶ保育者リカレント

保育現場への復帰を考える幼稚園教諭免許状か保育士資格を所持する方向けのプログラムです。安心して働けるように、保育の今日的な課題を押さえ、最新の保育理論に学び、法令改正を踏まえ、保育技能を磨きます。希望によりピアノ実技等、重点的に取り組みたい事項を加えることができます。

●科目例
子ども家庭支援の心理学／教育・保育課程論／おもちゃ論 ほか

※【編入履修モデル④】は保育士資格または幼稚園教諭免許状を所持する方が対象です。

※3年次編入の場合、64単位以上の修得が求められるため、上記の科目以外に学修者の問題関心に応じて履修科目を選択します。履修登録科目の選定に関しては、学期ごとに学科教務部教員による個別履修相談を受けることができます。

☆子ども教育学科の【ゼミ】は、2年次秋学期／3年次春・秋学期／4年次春学期の4セメスタにわたって開講されています。「3年次編入」の場合、【ゼミ】の単位は、3年次（1年目）秋学期と4年次（2年目）春学期とに2種類のゼミ（2年生と一緒に「専門演習」と3年生と一緒に「卒業研究」）を選んで履修することができます。「卒業研究」ではすでに「専門演習」を学び終わっている学生グループの中に入っていきることになりますが、学修に無理が生じないよう必要に応じて補講対応するため安心です。

子ども教育学科の教育

「人間学を基底においた児童学」を通じて培った他者理解の方法論を基に、4年間の学修を通して、子どもの「言葉にならない思い」を汲むことができるとともに、対人援助技術を身につけコミュニケーション力を活かして社会に活躍できる人を育てます。

教職課程の基盤	幼稚園教諭および小学校教諭養成課程が卒業必修科目として溶け込んでいるカリキュラムです。
教職・資格課程	幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭の一種免許、保育士資格が取得できます。
自由選択	免許や資格を取得しなくても卒業でき、全員、児童指導員任用資格が取得できます。入学後に学びながら、取得する免許や資格、学ぶ方向を考えることができます。
学び合う環境	各教職・資格課程の科目群は、原則として、学科の学生であればだれでも履修することができます。保育士課程の「子どもの食と栄養」「子どもの保健」「子育て支援」等を学んで教員になること、特別支援教職課程の各障害関連科目を学んで保育士になることも可能です。ゼミは、未来の保育士、教師、一般社会人が集い学び合う環境です。
社会人基礎力	対人援助技術とコミュニケーション力が身につく、一般企業にも求められる人として育ちます。

【子ども教育学科の履修モデル・4つのコース】

※入学時に確定し変更できない「コース制」ではありません。

幼稚園教諭コース

幼稚園教職課程の科目を通して子どもの姿を客観的に捉え、その思いに気づき、気づきを言語化して他者と共有しながらその子どもの成長したい願いに応える方法を社会人としての協働のなかで整える力をつけることを目指します。免許を取得しなくても卒業できます。

幼稚園教諭・保育士コース

幼稚園教諭免許と保育士資格の取得を目指し、認定こども園の保育教諭や社会的養護関連施設の保育士としても働ける保育者を目指します。

幼稚園教諭・小学校教諭コース

幼児の育ちへの学びを深めながら、小学校教諭免許取得を主軸に据えて学びます。幼児教育と小学校教育の連携の重要性を踏まえ、幼稚園教諭免許を副免許として取得できる「幼稚園教育実習(副)」も設定されています。

小学校教諭・特別支援学校教諭コース

小学校教諭免許取得を主軸に据えて学び、さらに特別支援学校教諭免許取得に向けた学びを重ね、特別支援学校教諭を目指します。

【その他の課程・科目群】

- 図書館司書課程
- 日本語教員養成課程

入試・出願等の情報は
以下のURLもしくは
右のQRコードよりご確認ください。
<https://www.seigakuin.jp/admissions/>



オープンキャンパス、進学相談会等の情報は
以下のURLもしくは
右のQRコードよりご確認ください。
<https://www.seigakuin.jp/oc/>



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

人文学部 子ども教育学科

TEL 048-780-1801 教育支援課 (月~土 9:00~17:00)
<https://www.seigakuin.jp> 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

聖学院 子ども教育

検索



JR高崎線「宮原駅」西口またはJR埼京線「西大宮駅」北口からスクールバスがあります。「宮原駅」西口、「日進駅」北口から徒歩約15分